会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  （３）職業実践専門課程等に関する支援体制づくりの推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回評価委員会 |
| 開催日時 | 令和2年9月18日（金）　13時00分～15時00分 |
| 場所 | オンライン会議 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡 信吾  委　　　員：佐藤　昭宏、岡村　慎一、冨田　伸一郎、樋口　健  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 計5名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　 計1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 合計6名 |
| 議題等 | 1. 委員長挨拶（佐藤） 2. 事業概要の共有（岡村）   ・職業実践専門課程の充実に向けた自己点検・評価システムの検証と質  保証・向上のための取組。自己点検評価、第三者評価の普及促進。  ①自己点検評価　　基準モデルの開発  ②第三者評価の情報整理  ③第三者評価　スタンダードモデル認証モデルの開発  ④情報公開促進  評価委員会では、事業で行われる調査、基準モデル開発、目標と実施  内容等について、いろいろな立場から評価をする。   1. 実行項目についての意見交換（佐藤）   ・評価委員会では、自己評価・点検および第3者評価関連アンケート　　　　　　調査、「自己点検・評価標準モデルのプロトタイプ」について検討・助言・評価する。  ・タスクとスケジュールについて説明。  　今年度は、①実態調査アンケート項目、②実態調査実施後のデータ分析  　③標準モデル案の検討、を予定。  ・9月14日「実態調査WG」での評価委員会に関連する意見の紹介。  ・評価委員会のスタンスとして実態調査WGのプロセスを踏まえて進める。  ・3年目の最終的な評価として、実績と継続・普及を含めた社会的な事業  評価が必要。  ・講師・教材など項目を細分化し、それが可視化できるかをチェックする  評価方法も検討。  ・大学と専門学校の違い、専門学校の固有性を明確化することが重要。  ・Slack上で情報共有・意見交換を都度行い、実態調査WGにフィードバ  ックしていく。  3. スケジュール確認（佐藤）  ・第2回評価委員会…10月30日(金)10時～オンラインにて開催。 |
| 配布資料 | ・事業計画書 |

以上